

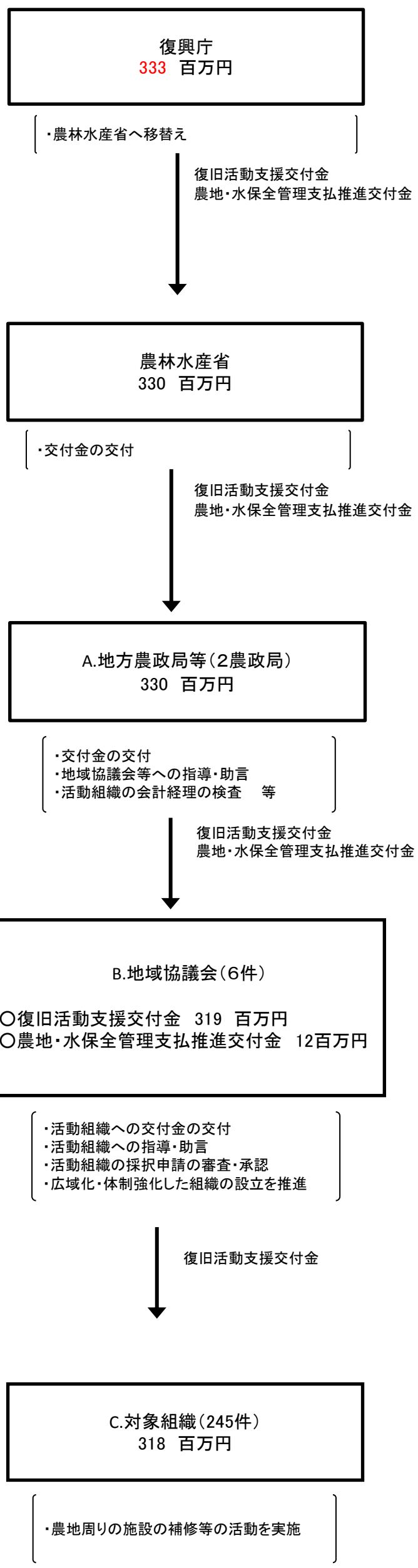
平成25年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	農地・水保全管理支払交付金(復興関連事業)		担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画(平成22年3月30日閣議決定) 土地改良長期計画(平成20年12月26日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災で被災した農地・農業用施設の復旧については、多くは災害復旧事業等に対応している一方、農地周りの施設について、小規模な損壊や、応急手当により通水したが十分な機能回復なされていない水路なども多数存在。こうした地域において、地域が主体となって、農地周りの施設の補修等に取り組む活動を支援し、もって農地・農業用施設等の機能を保全。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災の被災地域において、軽度被災を受けた農地周りの水路の補修等に取り組む集落に対して、地域協議会等を通じて支援。助成水準は、取組面積に応じて、水田4,400円/10a、畑2,000円/10a、草地400円/10a(国:1/2、県、市町村:各1/4)等。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	括弧内は農林水産省が計上した同様の事業(農林水産省0193農地・水保全管理支払交付金(復興関連事業))の予算額を参考記載しているもの		617	629	746	60	
		補正予算				-	-		
		繰越し等			△ 483	△ 296	296		
		計			134	333	1,042	60	
		執行額			109	330			
執行率(%)			81.3%	99%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (各年度)	
	農地・農業用水等の保全管理に係る集落等の地域が主体となった地域共同活動への延べ参加者数			成果実績	万人・団体	-	-	187 (200)	200
				達成度	%	-	-	93	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	被災地域における水路の補修等施設の復旧活動の取組面積			活動実績 (当初見込み)	万ha	-	-	2 (2)	- (3)
				算出根拠	執行額(330百万円)/活動実績(18,058ha)				
単位当たりコスト	1,829 (円/10a)								
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	復旧活動支援交付金	746	60	震災後早期に着手できなかった地域や、避難区域の見直しなどにより、新たに実施が見込まれる地域において本事業を実施するよう、対象地域を見直したことによる減額					
計	746	60							

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・本対策は、食料供給力の維持・向上や多面的機能の発揮のために、国が制度の基本的枠組みと活動の指針を定めて、統一的な基準の下に実施すべきもの。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	・また、被災した施設の補修等を行う事業であり、被災地の復興のため、優先順位が高い事業となっている。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	・対象組織は、公募により選定	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	・本対策における国、地方公共団体、活動組織(集落)の負担割合は、国:地方公共団体:集落(活動組織)=1:1:1としているところ。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-	・また、交付金の執行に関して必要な経費のみを支出しているところであり、資金の流れの中間段階での支出は適切なものとなっているところ。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	・本対策は、実態調査結果等から得られた活動量を基に算出した地目別、地域別の面積当たりの費用を定額で支払うものであるため、単位当たりコストを比較することは適当ではない。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	・平成24年度予算の執行率は99%	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・平成25年2月末現在で、約1.8万haの地域において地域が主体となって補修等の活動が行われ、これにより、農地、農業用水の保全管理が図られ、農業生産活動の再開はもとより、農村協働力の向上及び地域活性化に大きく寄与しているところ。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	・活動実績は、取組面積約2万haと見込みどおりであり、協定に基づき適切な施設の保全管理がなされているところ。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	類似の事業はない。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	[国費投入の必要性] 本対策は、食料供給力の維持・向上や多面的機能の発揮のために、国が制度の基本的枠組みと活動の指針を定めて、統一的な基準の下に実施すべきもの。 また、被災した施設の補修等を行う事業であり、被災地の復興のため、優先順位が高い事業となっている。			
	[事業の効率性] 本対策は、地域が主体となって農地周りの施設の補修等に取り組む活動を支援するものであり、食料供給力の維持・向上や多面的機能の発揮を通じ、農業者、地域住民及び国民全体の利益につながるもの。このため、国、地方公共団体、活動組織(集落)の負担を、国:地方公共団体:集落(活動組織)=1:1:1として単価を設定しているところ。また、交付金の執行に関して必要な経費のみを支出しているところであり、資金の流れの中間段階での支出は適切なものとなっているところ。			
	[事業の有効性] 平成25年2月末現在、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、千葉県、長野県に位置する35市町村において、245の対象組織が本対策により復旧活動に取り組んでおり、地域共同活動へ延べ参加者数の増加に向け、今後、改善が必要なものの、被災した農地周りの水路等の早期復旧に向け取組が行われているところ。 これにより、農地、農業用水の保全管理が図られ、農業生産活動の再開はもとより、農村協働力の向上及び地域活性化に大きく寄与しているところ。			
外部有識者の所見				
成果目標もほぼ着実に達成されており、引き続き効率的・効果的な事業の実施に努めること。26年度以降の予算要求については、ニーズの的確な把握に努めつつ予算規模の検討を行うこと。				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	軽度な破損や機能低下を生じた農地回りの施設の補修等に取り組む集落の支援に向け、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努めていく。			
備考				
(参考)農地・水保全管理支払交付金ホームページ <a href="http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/nouti_mizu/index.html">http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/nouti_mizu/index.html</a>				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
	平成22年	平成23年	平成24年	73

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足  
する)(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載する。  
 費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

A.東北農政局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
復旧活動支援 交付金	地域が主体となった農地周りの施設の補修 等を支援	271			
計		271	計		0
B.岩手県地域協議会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
復旧活動支援 交付金	地域が主体となった農地周りの施設の補修 等を支援	245			
農地・水保全管 理支払推進交 付金(委託費)	岩手県土地改良事業団体連合会(活動組織 の広域化に係る事務支援)	9			
農地・水保全管 理支払推進交 付金(事務費)	印刷費、消耗品等	2			
計		256	計		0
C.紫波町片寄南部地域農地・水・環境保全組織			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	(株)十文字組(水路整備工事)	10			
	山王海土地改良区(復旧活動支援交付金に 係る技術的支援等)	1			
計		11	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 地方農政局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北農政局	復旧活動支援交付金の交付	271	—	—
2	関東農政局	復旧活動支援交付金及び農地・水保全管理支払推進交付金の交付	59	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 地域協議会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県農地・水・環境保全向上対策地域協議会	活動組織への交付、指導・助言、採択申請の審査・承認等	256	—	—
2	栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会	同上	53	—	—
3	宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会	同上	12	—	—
4	千葉県農地・水・環境保全向上対策協議会	同上	4	—	—
5	福島県農地・水・環境保全向上対策地域協議会	同上	3	—	—
6	千葉県農地・水・環境保全向上対策協議会	同上	3	—	—
7					
8					
9					
10					

C. 対象組織

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	紫波町片寄南部地域農地・水・環境保全組織	協定に基づく活動を実施	11	—	—
2	須川宮農組合	同上	9	—	—
3	東高橋地域資源保全会	同上	9	—	—
4	西高橋環境保全向上推進会	同上	8	—	—
5	芳志戸環境向上推進会議	同上	8	—	—
6	相去ふるさと再生会議農地・水・環境保全組織運営委員会	同上	8	—	—
7	口内町地域農地・水・環境保全組織	同上	7	—	—
8	紫波町赤石地域農地・水・環境保全組織	同上	7	—	—
9	ゆざわ・はば環境保全協議会	同上	7	—	—
10	紫波町水分上地区環境保全活動組織	同上	7	—	—